



## 北海道指定有形文化財に指定された 「初田牛20遺跡の出土品」

平成20年3月18日に「初田牛20遺跡出土の土偶及び墓坑出土遺物」が北海道指定有形文化財に指定されました。この資料は縄文時代後期後半（3,000～3,500年前）のもので、これまで根室市指定有形文化財として保管・活用してきましたが、その価値や歴史的意義が再評価され、発掘からちょうど20年目の今年に道指定に「格上げ」されました。

この資料は1988年に発掘されたもので、当時の根室市文化財調査委員であった北角定吉氏（厚床在住、故人）と市教育委員会職員が、初田牛地区の牧草地で遺跡の分布調査を行っている際に土偶を発見したことがきっかけでした。土偶が見つかった周辺



▲初田牛20遺跡出土の土偶

を発掘してみると漆塗櫛（うるしぬりくし）や石製玉などの副葬品を伴った墓が2基と火を焚いた跡がみつかりました。

土偶は道央・道南の縄文遺跡で多く見つかりますが、道東・

道北は出土例が少なく初田牛20遺跡の土偶は日本列島でも最東端の分布例になります。そのため、縄文時代の特徴の一つである土偶を用いた祭祀が、東の果てまで及んでいたことを示す重要な資料として評価されています。

今回の道指定の申請にあたり、石製玉の詳しい材質を分析したり出土品の総チェックを行ったりするなど再検討を行いました。20年前に発掘された資料ですが、こうした再検討によって新たにわかったこともあります。既存の資料から新たな情報を得るため見直すことは資料を保存・活用する意味で非常に重要なことです。

歴史と自然の資料館では企画展「縄文まじかるレッド」を開催しております。ここで初田牛20遺跡の資料を詳しく紹介します。6月1日（日）は展示解説講演会も行いますので、ぜひご来場ください。

（学芸員 猪熊樹人）

企画展 「縄文まじかるレッド」  
会場 根室市歴史と自然の資料館  
（花咲港209、電話25-3661）  
期間 平成20年6月15日（日）まで  
（休館日は毎週月曜と5/3～5/6）  
展示解説講演会 6月1日（日）14:00～15:00  
（会場 歴史と自然の資料館）

### 編集後記

■桜前線が日本列島を北上しています。市内の桜が満開に咲くのは今月中旬とのこと。■桜の下での宴はまた格別のことでしょう。日本では一番遅い桜を満喫しましょう。  
(S)

## KUMON

### “5月無料体験学習 受付中”

期間：5月19日（月）～5月31日（土）  
教科：算数・数学、英語、国語  
「無料体験学習」は2週間で4回、教室にて学習を体験していただく機会です。たぐいま、お申し込みを受け付けております。

お申し込みは下記教室へ

根室光洋教室	光洋町3-83	23-3959	小川
根室宝林教室	月岡町1-2	23-6069	石森
根室西浜教室	西浜町3-145	24-9875	宮下
根室東教室	汐見町2-115	24-6620	千葉

期間／5月5日～8月3日

## 春国岱海岸潮干狩

★大人（中学生以上）1名 1,500円（税込）  
★子供（小学生）1名 1,200円（税込）

お申込み、お問い合わせは、下記までお電話下さい。

JFグループ  
根室湾中部漁業協同組合

TEL(0153)25-3131

根室市観光協会

TEL(0153)24-3104

